



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

〜第二〇六号〜

しゅうしよ  
小暑 七月七日

## アイスキャンディー



暑くなると食べたくなるもののひとつに、アイスキャンディーがあります。かき氷にアイスクリーム、ソフトクリームと冷菓はさまざまですが、アイスキャンディーは棒状で気軽に食べられるのがなによりの魅力。

この夏、名産味の館の店頭にあるアイスボックスには、色とりどりのアイスキャンディーがお目見えしました。

水色は、昔ながらのサイダーを復刻した「横丁サイダー」、オレンジは有田みかんの果汁一〇〇%で、果肉のつぶつぶとした食感も良い「みかん」。ほかに、伊勢のなかむら珈房の「カフェオレ」、玄米茶と煎茶せんちゃをブレンドし、極細の粉状にした「玄米煎茶」、つぶあんの「あずきミルク」と五種類が並びます。

アイスキャンディーを開発した商品企画部の福井謙一さんは、

「合成の添加物は使わず、こだわりの素材でおいしいものを作りました。

横丁サイダーのキャンディーは今回、復刻したのですが、涼しげな水色の着色は、海藻から取れる天然着色料を探し、それを使っています」

夏の身近な冷菓ですが、横丁オリジナルは原材料だけでなく、色も天然なのです。

商品開発もその色から始まったといいます。

「パッケージのデザインを考える中で、彩よくなるように水色、みかん、茶、緑、あずきとまず色を上げ、それからその色になる材料を探していったのです」と福井さんは開発の経緯を教えてくださいました。

その結果、子どもから若い女性、ファミリー層まで幅広く味わってもらえる五種類になったといいます。

さっそく、緑色も爽やかな「玄米煎茶」を食べてみました。さっぱりとした味で、暑さをしばし忘れさせてくれました。

文 千種清美